

第 13 期栃木県生涯学習審議会への諮問について

平成 30 年 8 月 30 日（木）に開催される栃木県生涯学習審議会において下記の事項を諮問いたしますので報告します。

記**1 諮問事項**

今後予想される社会の変化に対応した多様な学習活動の推進方策について

現在、我が国は少子高齢化が進んでおり、2040 年頃には、現存する市町村（約 1,800 市町村）のうち、約半数（896 市町村）が消滅する可能性があるといわれています。一方で、健康長寿社会を迎えており、「日本では、2007 年に生まれた子供の半数が 107 歳より長く生きる」と推測されています。また、2030 年頃には、第 4 次産業革命ともいわれる、IoT やビッグデータ、AI 等をはじめとする技術革新が一層進展し、社会や生活を大きく変えていく超スマート社会（Society5.0）の到来が予測されています。

こうしたことから、今後、地域の過疎化、空洞化やつながりの希薄化などによる地域コミュニティの弱体化及び長寿社会や技術革新、グローバル化の進展によるライフスタイルの変化などにより、地域社会が抱える課題は一層多様化、複雑化することが予想されます。

こうした社会の変化に対応しながら健康で生きがいのある生活を送るためには、県民が生涯にわたって自ら学習し、自己実現を図るとともに、他者と連携、協働しながら主体的に社会に参画していくことがこれまで以上に求められています。

そのためには、年齢、性別、経済事情、障害の有無など様々な環境にある県民一人一人が、主体的に判断する力や、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する力など、社会の変化に対応しながら豊かな人生を生き抜く上で必要な力を身に付けるための学習環境づくりを推進していく必要があります。

そこで、県民がこれらの力を身に付けるための生涯学習の在り方やそのための推進方策について、中長期的な視点を持って検討する必要があることから、今期生涯学習審議会において、御意見を伺いたいと思います。なお、その後、それらの御意見を踏まえて、「栃木県生涯学習推進計画（六期計画）」の策定に反映してまいりたいと考えております。